

未 来 予 想 図 Ⅱ

校長 佐野 貴仁

昨年のSAKURAだより5月号には、入学、進級して一か月を過ごした生徒たちの生き生きとした姿を「さいたま桜の良さ、生徒の良さを発見していく楽しみ」という題で書きました。

一部、登校日はあるものの、臨時休業日が続き、家で過ごす生徒たちは、どんな生活をしているのでしょうか。担任の先生たちからの報告では、さくらの生徒は、しっかりと感染予防対策のため、約束を守りながら家庭で過ごしていると聞いています。

少し前までは、電車やバス等に乗って学校に通い、仲間と一緒に学び、お弁当を食べながら話し、運動し、部活動を楽しんでいた生活が高校生としての普通の生活でした。私にしても、休日には外に出かけ、買物をしたり、食事をしたり、人と話したり、時には映画に行ったりと、それが普通の生活でした。そんな普通のありふれた毎日の生活が実はとても幸せな時間だったのだと、改めて気づかされます。だからこそ、今はしっかりと感染予防につとめ、少し後にくる、普通だけれど、幸せな時間を待ちたいと思います。

皆さんにも、何かの時にふと口ずさむ歌があると思いますが、私は、ドリカムの「未来予想図Ⅱ」という歌がそれです。好きな歌にかけて、少しだけ、未来について…令和2年度最後の全校集会での校長の話の未来予想図です。

『令和2年度の学校生活がもうすぐ終わります。令和3年度、卒業生の皆さんは社会人1年生になります。そして、在校生は高校2年生、3年生に進級します。今年度の始めのころを思い出してみましょう。コロナウイルス感染症の影響で学校に来ることがしばらくの間、できないことがありました。その間、みなさんは家庭で感染予防に努めながら、学校からの課題など今できることに一生懸命取り組みました。そして、学校が再開し、この間学校に来られなかった時間を取り戻すかのように、今の時間を大切にして、勉強や部活動や実習などに精一杯取り組みました。そして、仲間との関わりを、これまで以上に大切にして、仲間への言葉かけがとても優しいものにかわり、友達のきずなが深まりました。コロナウイルス感染症の拡大はとても怖いことでしたが、一人一人が力を合わせて適切に対応したことで乗り越えられるものでした。そして、困難な時間の中、私たちは健康・命、時間、家族・仲間などの大切さを改めて学びました。そのことが、各自の目標の達成や就職、一人一人の夢の実現につながりました。』

その時になったら、歌ってきます。

♪ほら 思ったとおりに かなえられてく…♪

※令和2年SAKURAだより5月号掲載予定



4月当初の敷地内の桜です